

令和 7 年度

【九州学生テニス連盟】

九州地区大学テニスリーグ規約

【九州地区大学テニスリーグ規約】目次

1. リーグ戦日程及び要項
2. リーグ戦出場資格
3. リーグ戦チーム編成
4. リーグ戦における試合方法(組み合わせ)
5. 入替戦 2大学制(自動昇格・降格含む)
6. 試合形式
7. 公式球
8. 審判について
9. コートの使用
10. 試合開始時間
11. オーダー交換
12. 選手出場順位
13. オーダー規約
14. 順位決定
15. その他

別紙:リーグ戦における試合方法(組み合わせ)九州地区大学テニスリーグ規約

1. リーグ戦日程及び要項

原則として、「リーグ戦日程」の開始時期は3月末までに決定する。

また、「リーグ戦要項」については、会場等の調整後、速やかに学連 HP に掲載する。

なお、これらの原則に基づいて団体戦が行えない場合が生じたときの対応については、本連盟一任とする場合がある。

2. リーグ戦出場資格

(1) 九州学生テニス連盟(以下、本連盟)に登録している全ての選手が出場資格を有するものとする。

(2) 登録選手におけるリーグ戦の出場回数は、団体登録を行った各大学、各医学系学部、各短大において、各個人出場を1年度につき1回までとし、4年制の大学の場合は最高4回まで、医学系学部制は最高6回まで、短大は最高2回までとする。

(3) 転校や編入、再入学をした者のリーグ戦の出場回数は、転校や編入、再入学する前の高等教育機関におけるリーグ戦で出場した回数において、「2.(2)」に定めた最高回数を超えてはならない。

(4) 転校や編入、再入学をした者が、転校や編入、再入学する前の高等教育機関における同年度内のリーグ戦に出場した場合、同年度内における本連盟リーグ戦に出場することは出来ない。(同年度内に複数回リーグ戦に出場することが出来ない。)

3. リーグ戦チーム編成

登録した選手、指導者、その他、本連盟が指定または許可し、登録した者。

4. リーグ戦における試合方法(組み合わせ)

リーグ戦は総当たりのリーグ(3大学:2パート制)及びトーナメント制とし、男子、女子とも3部制とする。1部、2部については6大学制、3部についてはトーナメントまたはリーグ戦とする。なお、3部については、参加大学数により、以下のとおり開催するものとする。

・参加大学、4大学以下の場合:総当たり戦のリーグ戦、及び1位～4位順位を決定する。

・参加大学、16大学以下の場合:最大16大学によるトーナメント制

・参加大学、16大学以上の場合:第1～8シードまで設ける。第1～4シードの大学についてはベスト16から出場。

※ただし2023年度以降はベスト4以下の順位が決まらないため3部リーグ予選会を行い、予選会勝利大学が「3部リーグ:16ドロウによるトーナメント」に出場するものとする。

また、選手の疲労を考え、「3部リーグ」については、最大「3日連続」とし、その場合、4日目は休息日とする。

なお、団体戦の試合方法の詳細については、別紙に記載する。

5. 入替戦(自動昇格・降格を含む)

【1部→2部】

(自動昇格・降格) 1部リーグ6位大学は2部リーグ1位大学へ自動降格、2部リーグ1位大学は1部リーグ6位大学へ自動昇格

(入替戦) 1部リーグ5位大学 vs 2部リーグ2位大学の入替戦を行う。勝利大学は1部リーグ5位、敗退大学は2部リーグ2位と決定する。

【2部→3部】

(自動昇格・降格) 2部リーグ6位大学は3部リーグ1位大学へ自動降格、3部リーグ1位大学は2部リーグ6位大学へ自動昇格

(入替戦) 2部リーグ5位大学 vs 3部リーグ2位大学の入替戦を行う。勝利大学は2部リーグ5位、敗退大学は3部リーグ2位と決定する。

※入替戦で下位リーグ側が勝利した場合、その大学の次年度順位は6位とし、下位リーグ1位の自動昇格した大学を5位とする。同様に降格した2大学の順位も前リーグの順位に従い1、2位を決定する。

6. 試合形式

(1) 各試合形式は、シングルスはベスト・オブ・3タイブレークセットマッチ、ダブルスはベスト・オブ・3タイブレークセットマッチ(ファイナルスーパータイブレーク)とする。

(2) 男子の試合は1対戦のポイント数を複3、単6の合計9ポイントとし、ダブルス第3位から順次第1位、その後シングルスは原則的※には第6位から順次第1位の順序で試合に入る。

※ダブルスと重複し、シングルスに出場する場合、シングルスの順序が変わる場合がある。

(3) 女子の試合は1対戦のポイント数を複2、単3の合計5ポイントとし、ダブルス第2位から順次第1位、その後シングルスは原則的※には第3位から順次第1位の順序で試合に入る。

※ダブルスと重複し、シングルスに出場する場合、シングルスの順序が変わる場合がある。

(4) 原則として、リーグ戦は単複同日に行い、ダブルスとシングルス間のレストは、以下のように定める。

試合時間60分未満 : 30分

60分以上90分未満 : 40分

90分以上 : 60分

(5) ボールチェンジは、1部はナインイレブン方式(9ゲーム目⇒20ゲーム目⇒31ゲーム目)とし、2、3部はファイナルチェンジ方式(3セット目に入ったらボールチェンジ)とする。なお、ボールチェンジ時は2球とも交換する。

※ボールチェンジを忘れた場合、正規のボールチェンジのゲームから偶数ゲーム後に交換する。

(例: 9ゲーム目で忘れた⇒2ゲーム後の11ゲーム目で交換)なお、次のボールチェンジは実際に交換したゲームから11ゲーム目とする。

※ボール紛失の際は、ボールチェンジから2ゲーム目まではニューボール、3ゲーム目以降はセットボールと2球とも交換する。

7. 試合球(公式球)

リーグ戦における試合球(公式球)は、全国王座の公式球とする。

なお、試合球(公式球)については、各大学、定められた試合球を用意し、試合に先立ち学連に提出することとする。その際、缶には大学名をマジックで記載すること。

※各大学、定められた試合球等については別途、お知らせする。

8. 審判について

原則としてセルフジャッジで行う。

9. コートの使用

(1) 「1部」及び「1部—2部入替戦」については、全国王座と同じサーフェイスとし、原則として、「ハードコート」とする。

(2) 「2部」及び「2部—3部入替戦」については、「9. (1)」の限りではない。

(3) これらの原則に基づいて団体戦が行えない状況が生じたときの対応については、本連盟一任とする場合がある。

10. 試合開始時間

原則として、本連盟が指定した時間帯を試合開始時間とする。

11. オーダー交換

ダブルスのオーダー交換は、原則として本連盟が指定した時間までに本連盟の本部に提出し、対戦相手とのオーダー交換は試合開始後の整列の際に行うこととする。

シングルのオーダー交換は、原則としてダブルスの試合終了後、本連盟が指定した時間までに本連盟の本部に提出し、対戦相手とのオーダー交換は試合開始後の整列の際に行うこととする。

尚、以下の場合、没収試合となる。

- ・固定順が異なる場合
- ・対戦校名が異なる場合

以下の場合、1セットダウンスタートとなる。

- ・整列時に交換用のオーダー用紙がコート内にない場合
- ・整列時までに本部にオーダー用紙を提出していない場合
- ・整列の時間に遅れた場合(注 1)

(注 1) 出場選手を対象とする

シングルス前の整列時: 1 列目は必ずシングルス出場全選手が整列, 2 列目は任意

ダブルス前の整列時: 1 列目は必ずダブルス出場全選手が整列, 2 列目は任意

以下の場合の罰則はない。

- ・オーダー用紙の誤字脱字(注 2)
- ・印鑑忘れ
- ・ふりがな忘れ

(注 2) オーダー用紙の様式は、九州学生テニス連盟指定の用紙に毛筆又はペン書き(黒または青)とする。(鉛筆・シャープペンシル等は認めない)選手の名前はフルネームで書く。日時等数字を記入する箇所は漢数字でも算用数字でも可。正式大学名に於いて略字は不可とする(正式大学名は前以て確認しておくこと)。また、オーダー交換の際の封筒の有無は問わない。誤字に関して→ 字の止め・跳ね・払い および、字の太さ・丁寧さ、旧字体・新字体のミスは誤字に該当しない。画数の過不足、誤植・脱字のみを誤字とする。

尚、オーダーに対しての質疑は、ダブルス・シングルスそれぞれの最初の試合のウォーミングアップが始まるまでとする。ウォーミングアップが始まった後の提訴は受け付けない。

12. 選手出場順位

別紙「選手出場順位規約」に従うものとする。

13. オーダー規約

(1) シングルス、ダブルスのオーダー順位については、「12. 選手出場順位」に基づき、出場順位の高い資格を有する選手から高い順位に入る。同等の資格を有する選手同士について、その限りではない。

(2) 同じ選手が2回(2種目: 単複)出場することは可能だが、同じ種目に1人の選手が2回出場すること

は不可とする。

- (3) 部員数不足の際は、各種目、順位の高い方から選手を入れていくこととする。

14. 順位決定

- (1) 「トーナメント」については、トーナメント結果をリーグ順位とする。但し、3部トーナメントについては、「3位・4位決定戦」を行ない、3位については次年度同トーナメント第3シード、4位については次年度同トーナメント第4シードとする。

- (2) 「リーグ戦」における順位決定については、以下のとおりとする。

①勝利数が多い大学を上位とする。

②勝利数が並んだ場合には、シングルス・ダブルスの勝率（勝敗が決まった試合/勝利ポイント）が高い方を上位とする。

③「②」でも同数の場合は、シングルス、ダブルスのセット取得率が多い方を上位とする。

④「③」でも同率の場合は、シングルス、ダブルスにおける勝ち試合におけるゲーム取得率が多い方を上位とする。

⑤「④」でも同率の場合は、本連盟の会議の決定に基づき、再試合等を行うこととする。

*「ポイント」とは、男子の場合「5－4」であれば、勝利大学には5ポイント、敗退大学には4ポイント取得する。その結果、1部リーグ、2部リーグについては、リーグ戦「3大学：2パート制」後、トーナメント（1部：クライマックスシリーズ、2部：トーナメント）制を採用する。なお、リーグ戦の各パート「1位・2位大学」がトーナメント（4大学）に出場する。

なお、トーナメント制においては、「1位～4位」の順位を決定するものとする。

- (3) 打ち切りの場合

「打ち切り」とは、リーグ戦の勝敗が決まり、敗退大学が勝利大学に対し、「以下の試合を棄権します。」となり、勝利大学が了承した場合、「打ち切り」とする。その場合は、残り試合のポイントは、勝利大学に付与するものとする。但し、勝利大学が「以下の試合を棄権します。」となり、敗退大学が了承した場合、敗退大学に付与するものとする。また、リーグ戦の勝敗が決まり、天候不順等により、学連が次の日以降のリーグ戦開催が難しいと判断し、該当大学が了承し、学連が「打ち切り」を宣言した場合は、残り試合のポイントは、どちらの大学にも付与しないものとする。

15. その他

- (1) リーグ戦に必要な事項については、本連盟のホームページにて公表するものとする。

- (2) 天候不順、並びに「新興感染症」等、通常の試合形式では試合を行えないと判断した場合は、各リーグの試合方法、並びに試合形式について、本連盟一任とする場合がある。

以上